

## 「グローバルリスク報告書」トップは気候変動

### ◆ 今後10年のリスクの上位は、気候変動対策失敗、異常気象、生物多様性喪失

世界経済フォーラムは、2022年1月11日に「[グローバルリスク報告書2022年版](#)」を公表した。毎年1月のダボス会議に併せて発表してきたが、昨年同様コロナの影響で対面での会議が延期となるなかでの発表となった。専門家や政財界のリーダー、市民社会の代表らを対象にした調査に基づく報告書だ。今後の世界の見通しを楽観視する回答者は16%に留まり、解決にはマルチステークホルダーによる協調的対応が不可欠としている。

今後10年間に起こりうるグローバルリスクの深刻度ランキングで今回1位となったのは「気候変動対策の失敗」で、2位が「異常気象」、3位が「生物多様性の喪失」となった。2021年版でも、影響力が大きいリスクで、気候変動は感染症に次ぐ2位となっている。

深刻度からみた今後10年グローバルリスク	
1位	気候変動対策(緩和と適応)の失敗
2位	異常気象
3位	生物多様性の喪失
4位	社会的結束の侵食
5位	生活破綻
6位	感染症
7位	人為的な環境損害
8位	天然資源危機
9位	債務危機
10位	地政学的対立

### ◆ 短期、中期、長期で主要なリスク傾向は異なり、短期では生活破綻が上位に

報告書では、主要なグローバルリスクを短期（0-2年）、中期（2-5年）、長期（5-10年）で調査している。気候変動対策失敗と異常気象は、いずれの期間でも上位3位に入っている。一方で短期的リスクの2位には生活破綻が、6位にはメンタルヘルスの悪化が入るなど、コロナの影響をうかがわせる項目も上位に入る。

中長期になるほど、生物多様性や資源危機など、回復が難しい課題が挙がっている。早期からの国際的な取り組みが求められる。 【赤山英子】

	短期リスク	中期リスク	長期リスク
1位	異常気象	気候変動対策の失敗	気候変動対策の失敗
2位	生活破綻	異常気象	異常気象
3位	気候変動対策の失敗	社会的結束の侵食	生物多様性の喪失
4位	社会的結束の侵食	生活破綻	天然資源危機
5位	感染症	債務危機	人為的な環境損害
6位	メンタルヘルスの悪化	人為的な環境損害	社会的結束の侵食
7位	サイバーセキュリティ対策失敗	地政学的対立	非自発的移住
8位	債務危機	サイバーセキュリティ対策失敗	テクノロジー進歩の悪影響
9位	デジタル格差	生物多様性の喪失	地政学的対立
10位	資産バブル崩壊	資産バブル崩壊	地政学的資源争い